

## V 日高振興局

### 1. みなべ梅郷クラブが県外研修会を実施

みなべ梅郷クラブ(会長：山本秀平、会員：13名)では、日高地方4Hクラブの活動に積極的に参加するとともに、地域課題の解決や各自の農業経営の改善のためのプロジェクト活動や独自の県外研修を実施している。

今年度は、肥料メーカーの製造工程や果樹の大規模農業法人の優良事例について学習するため、12月10日～11日の2日間、片倉コープアグリ株式会社千葉工場及び山梨県の有限会社I&I フルーツグローブズにおける県外研修会を、会員7名が参加して実施した。

片倉コープアグリ(株)では、和歌山地区担当の大内正志販売課長から肥効調節型肥料の種類や肥効特性、肥料原料確保の情勢や、梅や豆の新肥料の開発経過などについて説明を受けた後、製造工程や品質管理について研修を受けた。また、(有)I&I フルーツグローブズでは、飯野公一代表取締役から、就農当初から現在までの取り組みや現在の経営概要、後継者育成や今後の展望についてお話しいただくとともに、所管する中北地域普及センターの山下路子技師から、地域の担い手の状況や、同法人が山梨県独自の制度である「アグリマイスター」に認定され、新規就農者育成に多大な貢献を果たして旨の説明を受けた。会員からは、「法人化のきっかけは?」、「優良農地の確保は?」、「大面積を管理するための工夫は?」といった質問が次々と出され、自身の経営について考えるいい機会となった。

農業水産振興課では、今後とも同クラブの活動支援を通じて、担い手育成と農業経営の改善を推進していく。



肥料メーカーで肥効調節型肥料を学ぶ



肥料の製造工程を研修



(有)フルーツグローブズの飯野代表と山下普及指導員から大規模果樹経営について聴取



## 2. みなべ町農業士会が2年ぶりに「明日の農業を語る会」を開催

みなべ農業士会(会長：中井昭、会員：47名)では、県や日高地方の農業士会活動に加えて、町農業士会独自の事業として、試験場研修や青年農業士研修などを計画・実施している。今年度は「明日の農業を語る会」として、町長との意見交換会を計画し、12月17日、小谷芳正町長及びうめ課、産業課の副課長を迎えて、会員18名の参加のもと、2年ぶりに開催した。

はじめに、小谷町長から労働力確保や鳥獣害、新規就農者などについて全国的な状況を踏まえ、町農政に関する講話があった。続いて、農業水産振興課からみなべ町の現状を、農家戸数、耕地面積、農業産出額、新規就農者数、農作物鳥獣被害額の推移、耕作放棄地の推移から、みなべ町、和歌山県、全国の数値と比較して、その特徴を説明した。

特に、労働力確保のための宿泊施設の問題や鳥獣害対策、ウメ輪紋ウイルスやクビアカツヤカミキリの状況などについて会員の関心が高く、その後の意見交換では活発な質疑応答が行われた。

当課では、今後とも農業士会やみなべ町、JAや他の農業団体とも連携して、これら課題への対応に取り組んでいく。



中井会長挨拶



小谷町長講話